

倶知安町都市計画 マスタープラン

City Plan of KUTCHAN TOWN



2018年(平成30年)3月
倶 知 安 町

はじめに

倶知安町は、秀峰羊蹄山とニセコ連峰、清流尻別川などの自然環境に恵まれた土地を生かし、1892年(明治25年)の開基以来、「じゃがいも」を中心とする農業を基幹産業とし、後志地域の行政・経済の中心的な役割を担う都市として発展してきました。近年はスキー場周辺地域を中心にリゾート地としての土地利用が進み、国内外から多くの旅行者が来訪して賑わいを見せるなど、世界に誇れる国際リゾート地を目指した更なる発展も期待されているところです。

当町は2008年(平成20年)に都市計画の基本方針となる都市計画マスタープランを策定し、以後、このマスタープランに基づいて計画的な土地利用や都市施設整備を進めてきたところですが、約10年が経過し、2012年(平成24年)の北海道新幹線札幌延伸の認可・着工、2016年(平成28年)の北海道横断自動車道(後志自動車道)の事業化などの社会経済情勢の変化によって、当町の土地利用や交通体系は大きく変化する見通しとなっていることから、次の新たな20年後を見据えた都市計画マスタープランを策定しました。

新しいマスタープランでは、将来都市像「ふれあい豊かに質の高い暮らしと文化があるまち～多様な人が集い・にぎわい豊かな、未来へ飛躍する自然と共生するまち～」を掲げ、「国際リゾート地にふさわしいまちづくり」「今あるものを活かす効率的なまちづくり」「自然の恵みを活かしたまちづくり」「安全・安心に住みつづけられるまちづくり」「多様な人々の交流によるまちづくり」の5つの基本目標を柱として、少子高齢化を見据えたコンパクトな都市構造の維持を基本に、土地利用・交通体系・環境共生・防災・景観の分野別の方針、市街地周辺とスキー場周辺の地域別構想を定めており、町民が暮らしやすく来訪者が過ごしやすい環境づくりに取り組んで参りたいと考えております。

今後の都市計画行政推進にあたり、当計画を基本方針として活用して参る所存でありますので、皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げるとともに、当マスタープラン策定にあたり策定検討懇話会委員各位、倶知安町都市計画審議会委員各位など、ご協力をいただいた皆さまに心から御礼申し上げます。

平成30年3月

倶知安町長 西 江 栄 二



序 章 はじめに

1 都市計画マスタープラン策定の背景と目的	1
2 計画の目標年次と構成	3
3 計画の対象区域	4

第1章 倶知安町の現況と課題

1 倶知安町における都市の現況	
1-1 人口	5
1-2 土地利用	8
1-3 交通	10
1-4 経済・財政の動向	12
1-5 都市計画の現状	14
2 住民の意向（アンケート調査結果）	
2-1 調査の概要	16
2-2 調査の結果	17
3 上位計画の概要	33
4 我が国全体に共通する時代潮流	37
5 都市づくりにおける今後の課題	40

第2章 全体構想

1 都市の将来像と基本目標	
1-1 将来都市像	42
1-2 都市づくりの基本目標	43
2 将来人口等	
2-1 将来人口の見通し	45
2-2 将来市街地規模の設定	46
3 将来都市構造	
3-1 都市全体の将来都市構造	47
3-2 市街地エリアの将来都市構造	49
4 都市づくりの方針	
4-1 土地利用の方針	51
4-2 交通体系の方針	56
4-3 環境共生の方針	60
4-4 防災都市づくりの方針	62
4-5 景観づくりの方針	64

第3章 地域別構想

1 地域区分の設定	66
2 地域別構想	
2-1 市街地周辺地域（都市計画区域）	68
2-2 スキー場周辺地域（準都市計画区域）	73

第4章 実現化方策

第5章 参考資料

